



編輯局報情

# 週報

號日一十二月十

海軍武官・兵制度の改正  
 大東亞戦下の國民鍊成  
 戦時下のガスの使ひ方  
 十一月の常會の頁

思想戦讀本

⑥

思想戦と教育

315號

昭和十七年十月二十一日第三種郵便物認可 (毎週一回水曜日發行)

五錢

週報

昭和十七年十月十四日第三種郵便物認可 (毎週一回水曜日發行)

内閣印刷局印刷發行

週報は民翼賛の道しるべ

大東亞戦争

# 國債

郵便局売出

十月二十二日→十一月二日

體力／氣力／貯蓄力／

戦時貯蓄★報國

# 債券

売出

十月十五日→十一月十日

大蔵省。逓信省。日本銀行。日本勸業銀行

(本書の大きさは国定規格[A5]判)

露光量違いにより重複撮影

国民合唱 雲に寄せる

安藤一郎作詞  
弘田龍太郎作曲

Tempo di valse

ウミが波にのまると、あなはふくニ  
ヒカニカゼのゆくへに、はるばるニ  
ミヤサコニ、サレテゆくニ、モロ  
タシク、フタニ、ニ、ヒラセ、ワガツハ、ニ、ニッポン  
フヤ、シキ、レキ、キ、シキ、ツ、ヨ、カ、カ、シ

雲に寄せる  
安藤一郎作詞

海より昇る朝の日に  
光りかがよふ水と空  
南を指してゆく雲よ  
正しき治めに蘇へる  
異國人に日本の  
古き歴史を告げよかし  
黄金にみのる稲田吹く  
風の行衛に逢々々  
幾山越えてゆく雲よ  
大陸の野にたむろせる  
わが兵に豊年の  
安けき秋を告げよかし

(來源と再来週、火木土曜日、午後七時半より放送)

**週報** 第三二五號 十月二十二日

海軍武官・兵制度の改正  
一武官の官階・兵の職階の  
新制度について— 海軍省：二

大東亞戦下の國民鍊成  
明治神宮國民鍊成大會と  
國民運動秋季國民鍊成 厚生省：二

十一月の常會の頁……… 商工省：六

戦時下のガスの使ひ方……… 六

**思想戦讀本** (六)

思想戦と教育……… 三

週刊日誌

十月八日(木)第十回大體部報告日

- ▽陸軍航空部隊、瀋陽(魯南)を猛爆
- ▽スターリンググラード攻略の目的達成の旨、獨逸發表
- 十月九日(金)
- ▽陸軍省官制中改正の件(兵務行政本部の新設、航空本部令中改正の件を公布(十五日發布))
- ▽シンドニー強襲に敬華した海軍特別攻撃隊の四隻艦を載せて第二次日英交換船録介九かへる
- 十月十一日(日)
- ▽國費等で二十四時制實施
- ▽日・タイ間の郵便協定、鐵道運賃協定成立(九月十一、十二日の旨、日・タイ軍發表)

十月十二日(月)

- ▽歌御會始の御題を「獨行新年」と御決定せらる
- ▽陸軍初の軍政會議を陸軍省で開催
- ▽在俄國、中立國在留邦人との通信取次を日本赤十字社開始
- ▽米大統領ルーズヴェルト、増邊談話を放送
- 十月十三日(火)
- ▽ビルマ作戦に倭勳を樹て大伴閣僚、同配閣僚、原田閣僚、同配閣僚、平井閣僚、同配閣僚に對し感狀が授與され、上間に達した旨、陸軍省發表
- 十月十四日(水)國幣十周年記念日
- ▽英領一萬五千二十一柱の招魂の儀を踏國神社で執行

露光量違いにより重複撮影

国民合唱 雲に寄せる

安藤一郎作詞  
私田龍太郎作曲

Tempo di valze

雲に寄せる  
 海より昇る朝の日に  
 光りかがよふ水と空  
 南を指してゆく雲よ  
 正しき治めに蘇へる  
 異國人に日本の  
 古き歴史を告げよかし  
 黄金にみのち相田吹く  
 風の行衝に逢ふと  
 幾山越えてゆく雲よ  
 大陸の野にたむろせる  
 わが兵に豊年の  
 安けき秋を告げよかし

雲に寄せる  
安藤一郎作詞

十月八日(水)第十回大艦隊演習  
 ▼陸軍航空部隊、洛陽(河南)を猛爆  
 ▼スターリンググラード攻略の目的達成の旨、獨逸發表  
 十月九日(木)  
 ▼陸軍省官制中改正の件(兵務行政本部の新設)、航空本部令中改正の件を公布(十五日)  
 ▼シンドニー強襲に徹華した海軍特別攻撃隊の四隻艦を載せて第二次日英交換船戦  
 十月十一日(土)  
 ▼國鐵等で二十四時制實施  
 ▼日・タイ間の郵便協定、鐵道運賃協定成立(九月十一日、十月十四日)  
 ▼英艦一万五千二十一枚の招魂の儀を踏國神社で執行

週報

第三一五號  
十月二十五日

海軍武官・兵制度の改正

一 武官の官階、兵の職階の新制度について

海軍省…二

大東亞戦下の國民鍊成

明治神宮國民鍊成大會と國民運動秋季國民鍊成

厚生省…二

十一月の常會の頁

厚生省…二

戦時下のガスの使ひ方…商工省…六

思想戦讀本

(六)

思想戦と教育…三

週日誌

十月八日(水)第十回大艦隊演習  
 ▼陸軍航空部隊、洛陽(河南)を猛爆  
 ▼スターリンググラード攻略の目的達成の旨、獨逸發表  
 十月九日(木)  
 ▼陸軍省官制中改正の件(兵務行政本部の新設)、航空本部令中改正の件を公布(十五日)  
 ▼シンドニー強襲に徹華した海軍特別攻撃隊の四隻艦を載せて第二次日英交換船戦  
 十月十一日(土)  
 ▼國鐵等で二十四時制實施  
 ▼日・タイ間の郵便協定、鐵道運賃協定成立(九月十一日、十月十四日)  
 ▼英艦一万五千二十一枚の招魂の儀を踏國神社で執行

# 問答 海軍武官の兵制の改正

海軍武官の階級の兵制の改正について

## 海軍省

### 改正の狙ひ

問 来る十一月一日から海軍の武官や兵の制度が大分變るさうですが、どういふことですか。

答 むづかしくいふと、武官については官階、兵については職階の一部が改正されるわけで、すでに去る七月十四日に、これに關する二つの勅令が公布されてをり、いよいよ十一月一日から實施されるのです。

一體、何故かういふ改正を行ふ必要があるかといふと、一言でいへば、この重大戦局に直面してゐる帝國海軍が、軍備計畫の遂行と作戰任務の達成を、より一層容易にするためです。現在の制度は大正九年に定められたもので、時代の進展と共にいろいろ改正を要する點があり、しばしば改正の議もあつたのですが、海軍省當局で慎重に研究を重ねた結果、今度、戰爭遂行に支障

の起らない範圍で、否むしむ、戰爭遂行を有利にするために、この編成の根本に大改正を加へることになつたのです。

ナポレオンの言葉に、「二人のマメル族の兵士(フランス族より成る奴隷で、ナポレオンのエジプト遠征の際、ピラミッドの戦ひで、フランスの騎兵とよく戦つて遂に敗れた)は、三人のフランス兵を支へることが出来るが、フランス騎兵が百人になると、百人のマメル族の兵士を壓し、フランス兵が三百人になると、三百人のマメル族の兵を降伏させ、千五百人になると、これを打破ることが出来る」といふ趣旨のことがありますが、これは軍の編成の如何によつて、同一人員より成る軍隊が強弱もなり弱くもなるといふ軍略の妙味を表現したものといへませう。そしてこの重要な編成の根本をなすのは、適當に人の配置、地位を與へることであり、官階職階はこの根本となる重要な要件で

### 特務士官の差別廢止

問 いま特務士官の差別がなくなるといふお話でしたが、一覽表には名前が出てゐるではありませぬか。

答 さう、制度としては残つてゐます。今までのやうに學校出の人との差別はなくなりませんが、よい方の差別はそのまゝに残してあります。といふのは、兵から昇進した特務士官の人は年功も積んでゐるので俸給や給與の點では、學校出の人より優遇されることです。この特務士官といふ制度を残してゐるのは、さういふ一面での差別をなくしたくないからです。

それから特務士官についてのもう一つの改正は、今まで特務士官の科別は兵科、飛行、整備、機關、工作、軍樂、看護、主計の八種類あつたのが、飛行、整備、機關、工作は兵科に統合され

す。そこで帝國海軍としてもこの重大戦局に直面し、一大戦力の充實を期さうとする今日、この點に思ひ切つた改正を行ふのもまた當然なことでありませう。

### 改正の重點

問 改正される主な點はどういふことですか。

答 士官級については、まづ第一に、今まで兵から昇進した高等武官に附せられてゐた「特務士官」といふ名稱が廢止され、これまで海軍特務大尉とか海軍機關特務少尉とかいはれてゐたのが、單に「海軍大尉」となり「海軍少尉」となつて、學校出の武官と同様になることです。

第二は將校について「機關」といふ科別が廢止されたことです。即ち、今まで將校には「海軍機關少佐」とか「海軍機關少尉」とかいふ名稱があつて、兵

科の海軍少佐なり、海軍少尉から區別されてゐたのを、兵科一本に、つまり、海軍少佐なり、海軍少尉といふ名前に統一されました。

第三には、技術科士官の名稱を單一化したことです。即ち、今まで技術方面は、造船、造機、造兵、水路の四つに分れ、それ「海軍造機大佐」とか、「海軍造兵中尉」とかいはれたのですが、十一月一日からは、これらは全部「海軍技術大佐」とか、「海軍技術少尉」と呼ばれることになりました。これと同時に今後は氣象、土木、建築等の技術出身の者も技術士官に採用され、海軍作戰規模の擴大に伴つてこの方面も擴充強化されることになりました。

その他いろいろ變更がありますが、軍樂少佐、衛生少佐が新設されて昇進の途が開けたことも挙げられます。詳しくは次頁の新武官階表を見て下さい。

海軍武官階級表

Table showing naval officer ranks across various branches: 醫科 (Medical), 主計科 (Accounting), 技術科 (Technical), 医歯科 (Dentistry), 法務科 (Legal), 軍樂科 (Music), 看護科 (Nursing), 兵科 (Infantry), 海軍大尉, 海軍中尉, 海軍少尉, 海軍大佐, 海軍中佐, 海軍少佐, 海軍大尉, 海軍中尉, 海軍少尉, 海軍大尉, 海軍中尉, 海軍少尉.

また技術科が新たに設けられたために結局、兵科、軍樂、看護、主計、技術の五種に整理されたことです。問 特務士官の差別をなくしたことは、兵から進むものには大きな喜びでせうね。

金の星がついてゐたのも、十一月一日からとれますし、また別に今後は將校としての養育を養ひ、それにふさはしい教育を受け得るやうに準備もしてゐますから、今までよりもどしどし佐官にも進級できるやうになるわけで、志願兵などの前途に明るい希望が開けたといへませう。例へば少年飛行兵など兵

なる年が若いから、相當年功を積み、大佐ぐらにはなれることになりませう。とにかく特務士官制度によつて、「下士官となるのは將校に列する第一歩」といふことになつてゐるが、更に一段と促進強化されることになるので、大きな意義がありませう。

機關科を兵科に統一

話は戻りますが、なぜ機關科が廢止されて兵科に合併されたのですか。答 告知のやうに、近代戦は非常に科學化し、細かな機關その他の科學知識を必要とするに至つてゐます。海軍の機關科をするにも、機關科は機關科の者にまかせて置けば戦争は出来ませんし、各種の電氣裝置を始めとして、兵科、機關科の區別はつけられなくなつてゐるものが澤山あります。昔は、機關科はほんとの將校でなく相當官だつた時代もあつたのですが、今では艦長、航海長などの兵科出身のものも機關科の知識をもたねばならぬし、また一方近代兵術の進歩によつて、機關科將校の活動の分野は著しく擴大されたのです。そこでこの區別を廢して兵科一本になつたのです。

が、機關科が輕視されたためではなく、むしろ重要視された形です。

この改正があつても、機關科將校の養成機關である海軍機關學校は、差當りは廢止、統合されることはなく、今後の海軍の教育内容の改正等については別

に研究されてゐます。

こゝで注意すべきは、機關科の名稱は準士官以下には殘されてをり、「海軍一等機關兵曹」とか「海軍一等機關兵」とか呼ばれることに、變りはありません。問 武官については分りましたが、準

Table showing officer grades: 特務士官, 准士官, 下士官, 兵科, 軍樂科, 看護科, 主計科, 技術科. Includes detailed sub-tables for each grade and branch.

注 必要に応じて海軍兵曹以下を兵科准士官、海軍飛行兵曹以下を飛行科准士官、海軍醫官以下を醫科准士官、海軍主計官以下を主計科准士官、海軍技術官以下を技術科准士官、海軍軍樂官以下を軍樂科准士官、海軍看護官以下を看護科准士官と稱することを得。

士官や下士官については変更はありませぬか。

答 さうです、準士官、下士官については何も変化はなく、種類も特務士官以上とちがつて、兵科の準士官の外に、飛行、整備、機關、工作の名稱も残つてをり、技術科が新しく出来ました。

**三等、四等兵は昇格**

問 兵の方はどう變るのですか。一度新聞に「水兵さん、さやうなら」といふ記事が出たので、水兵といふ名前がなくなるのかと思ひました。

答 ご尤もです。今まで三等水兵、四等水兵といはれたのが、今度の改正で廢止されて、それ／＼一等水兵、二等水兵に昇格することです。こゝで一等水兵といふのは一等兵の中で水兵科の者に對する名稱で、これが機

關科兵ならば一等機關兵と呼ばれてす。つまり今までの一等兵は兵長に、二等兵は上等兵に、三等兵は一等兵に、四等兵は二等兵に名稱の上で格上げされたのです。

問 私どもは、水兵さん水兵さんと一行、整備、機關、工作、兵科以外に軍

口に言つてゐますが、水兵にも随分種類があるのださうです。

答 さうです。この海軍兵階級表を見ていただければよく分ると思ひますが、いはゆる水兵の外に、兵科の中にも飛行、整備、機關、工作、兵科以外に軍

海軍兵階級表

兵科	兵			
	長	上等兵	一等兵	二等兵
海軍水兵長	海軍上等水兵	海軍一等水兵	海軍二等水兵	
海軍飛行兵長	海軍上等飛行兵	海軍一等飛行兵	海軍二等飛行兵	
海軍整備兵長	海軍上等整備兵	海軍一等整備兵	海軍二等整備兵	
海軍機關兵長	海軍上等機關兵	海軍一等機關兵	海軍二等機關兵	
海軍工作兵長	海軍上等工作兵	海軍一等工作兵	海軍二等工作兵	
海軍軍樂兵長	海軍上等軍樂兵	海軍一等軍樂兵	海軍二等軍樂兵	
海軍衛生兵長	海軍上等衛生兵	海軍一等衛生兵	海軍二等衛生兵	
海軍主計兵長	海軍上等主計兵	海軍一等主計兵	海軍二等主計兵	
海軍技術兵長	海軍上等技術兵	海軍一等技術兵	海軍二等技術兵	

備註 各兵科に關し、海軍水兵長以下を水兵科、海軍飛行兵長以下を飛行科、海軍整備兵長以下を整備科、海軍機關兵長以下を機關科、海軍工作兵長以下を工作科、海軍軍樂兵長以下を軍樂科、海軍衛生兵長以下を衛生科、海軍主計兵長以下を主計科、海軍技術兵長以下を技術科と稱する。

樂看護、主計、技術の四つがあります。

**海兵への途**

問 その海軍兵になるには、どういふ方法がありますか。

答 それは徴兵と志願兵の二つがあります。徴兵といふのは、徴兵検査のときに、本人が海軍を志願する旨を出ると、徴兵官が身體検査の結果と學力等から海軍に徴集する旨を申渡し、これによつて海軍に採用されるものをいふのですが、海軍兵の中堅となるのは、何と云つても海軍志願令に基づく海軍志願兵です。丁度いま、昭和十八年度の徴集検査を行つてゐるところですから、今後、日本の興隆を擔つて立つ帝國海軍に、有爲な青年がどしどし入つてほしいと思ひます。

**志願兵制度**

問 海軍では、何故志願兵といふや

うな制度をとつてゐるのです。兵種は第一何々、第二何々、なるべく三つは申出るといふと思ひます。その種類は、

一、水兵(一般水兵)——海軍の中心となる直接戰鬥に従事し、大砲、水雷または測的關係、艦艇の運用、備給が主な役目です。  
 二、水兵(少年水測兵)——昭和十七年度から新たに採用されたもので、海兵團で三ヶ月の教育を受け、さらに一年間、海軍機關學校で教育を受け、敵の潜水艦または軍艦の所在の測定をやるものです。  
 三、水兵(少年電信兵)——海兵團で三ヶ月の教育終了後、海軍通信學校に入校し無線電信、無線電話の取扱に當ります。  
 四、飛行兵(乙種飛行豫科練習生)——少年航空兵と呼ばれるもので、採用されると、海軍練習航空隊に入隊して特別の教育を受ける筈の候補です。  
 五、整備兵——航空機の機體、發動機と兵器の整備取扱に當り、地上勤務を主と

**志願兵の兵種**

問 志願兵には、いろいろ兵種があるさうですが……

答 さうです。志願するときに、志願

し、なほ、搭乗整備員となつて、飛行兵と同様に機上勤務の者もあります。

六、機關兵——汽機、機械、電氣機械取扱、機關工業等の専門的な諸作業に従事します。

七、工作兵(工作術員または練習生)——海兵團で三ヶ月の教育を受け、海軍工作學校に入校して特殊教育を受け、鍛冶機械、仕上、板金、鋳造、熔接木村工具、潜水作業等に従事し、陸戦隊では工作隊員として活躍するものです。

八、軍樂兵——採用者はすべて横須賀第一海軍兵團に入團し、いはゆる海軍軍樂隊になります。

九、衛生兵——海兵團で三ヶ月教育を受けさらに海軍病院練習部で教育を受けます。

一〇、主計兵——衣糧の方と經理の方とありますが、はじめは誰でも一様に炊事に従事します。

この外に甲種飛行機科練習生を志願

することが出来ますが、これは中學校三學年修了程度の學力ある者から個別の徴募検査を行ひ、選抜されることになつてゐます。

**現在の徴募資格**

問 いま應募できるのは何年生れの者ですか。

答 これは採用の年、即ち昭和十八年十二月一月現在で計算しますが、表の通りです。身體検査は相當嚴重ですが、その規格や學力検査などについては、最寄の海軍人事部または地方海軍人事部、市(區)役所または町村役場で

「海軍志願兵の契をもらつて讀んで下さい。」

とにかく、今年の志願兵の検査は、横須賀鎮守府管下では十月上旬、佐世保、舞鶴の管下では十月上旬、呉鎮守府管下では十一月上旬からそれより開始されてゐますから、海軍に入つて海國男子として健闘しようとする青年は、各府縣で告示されてゐる志願書提出期日におくれないうちに、親権者の同意を得た上で、至急志願書を出すことを望みます。詳細は、市(區)役所または町村役場についてきかれば分ります。

兵種	年	年齢	生年月日
水兵(一般水兵)	二十五年以上	自昭和十一年一月一日以上	自昭和十一年一月一日以上
關兵(工作兵)	二十一年以上	自昭和十三年一月一日以上	自昭和十三年一月一日以上
飛行兵(少年飛行兵)	十四年以上	自昭和十四年一月一日以上	自昭和十四年一月一日以上
軍樂	二十六年以上	自昭和十二年一月一日以上	自昭和十二年一月一日以上

**將校になるには**

問 志願兵のことは大體分りましたが、士官になるには……

答 いろいろありますが、最も普通の途は、海軍兵學校、海軍機關學校を卒業して兵科の將校になると、海軍經理學校を出て主計科士官になるとあります。日本男子なら誰でも受験できますが、學力はご承知の通り中等學校四年程度です。

軍醫、藥劑、技術、齒科、法務科の永久服務の士官になるには、大學または高等専門學校在學中に海軍委託學生生徒の試験を受けて、海軍委託學生生徒になつてゐなければなりません。

次に通稱二年現役制度といふのがあります。これは大學または高等を卒業してから試験を受け、出身によつてそれ／＼軍醫科、藥劑科、主計科、技術科、齒科、法務科の士官になる制度

であります。これら大學、高專出の者は、先づ見習尉官に採用され、それから大學出は中尉に、また高專出は少尉に任官するのです。

問 この外に、海軍預備學生制度といふのがあるようですが、あれはどうか。

答 大學または高專の卒業生なら何科の卒業生でも、志願して試験さへ通れば海軍預備學生となれるわけで、先づ預備學生として海軍軍人としての基礎的な訓練を受け、ついで、その人々の向に應じ、砲術學校、機雷學校、通信學校とか、或ひは航空隊とかいろいろの學校にはいつて技術を修め、終つて預備少尉に任せられ、預備員として進級服役するものです。

これが前の二年現役と違ふ點は、二年現役の方は、その人の大學専門學校で修めた専門の技術で従事するのですが、預備學生の方は、高等教育を

**預備員についての改正**

問 いま預備員の話が出ましたが、今の改正で何か變更された點はありましたか。

答 たと現役の方と同様、機關科等が廢止され、兵科だけになつたほかは實質的な變更はありません。現役の方の制度の變更につれて變更されたものと承知して下さい。

# 大東亞戦下の國民鍊成

## 第十三回明治神宮國民鍊成大會と 健民運動秋季國民鍊成

厚生省

### 大會の指導理念

大東亞戦争の勃發以來、こゝに十ヶ月餘、いまや御秘威の下、征戰に、建設に、奮々と成果を挙げつゝある時、いよいよこゝに第十三回明治神宮國民鍊成大會を迎へるこゝとなり、國を奉じて、曠古の大業を遂行しつゝある最中に、國民鍊成の大祭典を開き得ることは何といふ有難いこととありませう。皇民われ生けるしるしありといふ國民的歡喜と、大君の御爲にいよいよわが身を鍛へてそなへ奉らむといふ決意とは、大東亞戦下の神宮大會に臨む全國民が共に抱く熱望であり、感激であります。

神宮大會は、いふまでもなく、明治神宮御祭神の大前に、國民が平素の鍊成の成果を奉納する神事奉仕であつて、この本質はいつの時、いかなる年においても渝るべくもありませんが、しかし神宮大會は、國家の體力國家の精神として、國家の國民鍊成方策の最高指針を示すものでありますから、國運の進展、内外情勢の推移によつて、大會の方針や内容が年々歳々に變化して行くことは當然であります。

その神宮大會は、大正十三年に明治神宮外苑競技場の竣工を機に開催されたもので、當時は内務省の主催で明治神宮競技大會と稱してゐましたが、大正十五年になつて民間の明治神宮體育會の主催に移り、名稱も明治神宮體育大會と改められ、第五回からは隔年に開催してききましたが、昭和十四年の第十回大會から厚生省、即ち政府の主催に廻り、明治神宮國民體育大會と改稱され、毎年開催されてきましたが、さらに今回から明治神宮國民鍊成大會とこの名を改めたのであります。このやうな主催や名稱の變遷は、體育の國家的意義の推移を維持し物語つてゐるものであります。かつて自由主義が華やかであつた頃は、體育はいはゆる選手の獨占物であつて、勝敗を争ふ競技本位のものであります。それが、體力向上のために體育を實施すべきといふ考へに進んで來ましたが、最初は單に理念の上にとどまり、實施者は一部の少數選手に限られてゐました。この状態は、支那事變後、厚生省が新設された前後から急激に打破されて、御奉公を完了する

ため體育によつて全國民が心身を鍊成すべきことが強調され、神宮大會もこれに對應し、昭和十四年に主催と名稱を改めたのであります。

しかし、深刻な内外の形勢の推移と、それを背景とした國民の眞摯な體育の本義追及とは、遂に「體育」の語を以ては包攝しきれない深い内容を附與するやうになり、大東亞戦下に體育といふ概念は、一つの大きな飛躍を要することになつたのであります。

即ち、體育は單に體力の増強のために行はれるものではなく、また體育を知育、徳育と共に教育の手段の一つとすること、單に教育の方法論的な説明の便宜にとどまり、かやうな分析的な方法それ自身が、日本的な考へ方に適したものでないものであります。

古來、わが國においては、文武一如の道とし、これを履することによつて眞實の鍊成を果してきたのであります。いはゆる修文練武によつて人を成して來たのであります。即ち、私も日本人にとつて體

育は、いはゆる練武であり、それは修文と不可分一體となつて皇民我を鍊成する道なのであります。かやうな體育の本義に對する國民的自覺によつて、今やそれは「國民鍊成」の語を以て表現する方が一層適切となり、本年から神宮大會は、その名を明治神宮國民鍊成大會と改めることになつたのであります。

も、皇國民としての日常鍊成を立派に果してゐる者であります。また年中無休のラジオ体操會で毎朝、無病息災を樂んでゐるお爺さんやお婆さんは、またそれ〴〵適當な國民鍊成を實行してゐる人々であります。このやうに黙々と日常鍊成に勵んでゐる人も、神宮大會が平素鍊成の成果を奉納する大會である以上、いはゆる選手の人々と同様に神宮大會に参加する資格があるものといはねばなりません。

### 今次大會の特色

一、國民の鍊成を重んじ、その優秀者の表彰と大會参加を考慮したこと  
これまでの参加者は、とかく一部の特殊な技能優秀者、いはゆる選手に、極限され勝ちでありましたが、國民鍊成の見地からしますと、平素鍊成の成果がいはゆる選手のやうに或る特殊技能に長ぜねばならないといふことはありません。例へば、朝に竹刀の素振や銃剣の刺突を演練し、夕に關足行軍を行つて心身を鍛へてゐる青年は、劍道や銃剣道、マラソンの選手にはなれなくて

そこで今年から全國の優良國民鍊成團體と、今夏行はれた健民運動夏季心身鍛鍊を熱心に實施した團體と合計約一千團體を本大會で表彰し、また、その代表者は神宮大會に参加し、特に十一月三日の全國一齊體操には、全國民の代表として中央會場で體操を行ふことになりました。

二、基礎體力と戦技能力の鍊成を旨とし、綜合訓練を重視したこと  
國民鍊成の目標は、均齊して強剛な日本人の鍊成にあるのであつて、單に一技にのみ秀でた人間をつくるものではありません。そこで後述のやうに、今年は参加者の體力



検査資格の標準を引上げ、また青少年の陸上競技は、各人の体力検査種目の総合得点を競はせることにしました。

また戦技訓練は、国民錬成の重要目標として大いに重視し、銃剣道、射撃、行軍訓練、消空訓練等の内容を擴充しました。しかし實際の戦術は、一般に長い行軍の後に射撃、突撃、銃剣格闘と連続して行はれるのでありますから、眞の戦技訓練は、かゝるた種類の訓練の総合されたものでなければなりません。そこで今年から戦場運動の一部として総合戦技訓練といふ種目を設け、野外行軍、疾走、懸垂、運搬、障礙通過などの後に、水泳を行ひ、さらに射撃、銃剣道を行ふ総合戦技を実施することにした。また大東高専の生徒は、行軍、射撃、銃剣道の総合訓練を行ひますが、これも同様の趣旨に基づき、訓練を少しでも實際に即座せよとするものであります。

第一に、参加者の体力検査の合格標準を原則として初級に引上げました。周知の通り、初級は國家が少くともこれだけの体力は、せひ其へてほしいと要する標準体力でありますから、神宮大會参加者は、少くともこれだけの基礎体力をもつてゐなければならぬとするのは當然であります。昨年は本制度を実施した初年度でありましたので、級外甲合格にとどめましたが、昨年の該當者の殆んど九割が初級合格以上でしたので、今年から初級合格者以上に引上げさせました。但し十七歳以下の者には、やゝ困難なので、級外甲合格を認めることにしました。

次に、参加者の健康状態を資格條件に加へました。運動選手と結核の問題は、一般でも取り上げられ、また、これを裏書する事實も少くなく、神宮大會衛生係でも年々、結核性疾患に起因する運動不適者を多少づつ発見してゐますので、本年からは、國民体力法に基づく体力検査の結果、結核性疾患、心臓疾患、腎臓疾患、脚氣等のため「要注意」と判定された者は、原則として参加できないことにしました。

さて、第十三回明治神宮國民錬成大會は、畏くも三笠宮崇仁親王殿下を總裁に奉戴するの光榮に輝き、すでに八月末の夏季大會で海洋競技と水上競技を終り、いま旬日の中に秋の大會を迎へようとしてゐます。

なほ秋の大會に引續き明年一月には、群馬縣名湖で水上競技、二月には栃木縣日光でスキー競技が行はれ、これが終つて、はじめて約半歳にわたる今次大會の豪華多彩の幕は閉ぢられるわけでありませう。

まづ第一は、神宮大會の地方大會で、これは十一月三日の明治節に、中央大會に對して全國各市町村で行はれます。地方大會は、いふまでもなく、明治天皇の御聖徳を景仰しつゝ、全市町村民が一日體練、練武を通じて、和やかに楽しみながら士氣と體力を發揚することを主旨とし、従つて青壯年は、武道や體育に力一はいの元氣を出すべきで、特に郷土と關聯した村内の神社、盆舞、リレーや、部落巡りの行軍、走などは意義深いものであります。

尤も地方大會は、かやうな運動會式のもの、他に、全員で登山、遠足、勤勞作業、或ひは前記のラジオによる一應體練だけを行つても結構で、とにかく體育を中心として市町村民が厚生和樂することに目的があるのです。

次に、この神宮大會秋季大會の間中に、大會と並行して行はれる國民運動秋季國民錬成について簡単に述べませう。心身鍛練は、勿論一年を通じて行はれるべきであります。國民運動は、毎年春夏秋冬の各季節に一回づつ、強調期間を設けてゐます。そしてこの秋は、「國民運動秋季國民錬成」と名づけて、十月二十九日から十一月三日の明治節までの六日間、神宮大會と並行して實施することになりました。

今度の秋季錬成は、大東亞戰下に國民一年の錬成の成果を發揮するやうな行事を開き、戦後國民の士氣と體力を内外に發揚することを眼目としてゐます。

この期間中の行事は、次ぎの二つに分けることが出来ます。





(一)

# 新穀感謝

## の念を深めませう

常 徹  
會 底  
項 事

畏くも天照大神は、永遠に榮えゆく日本國民に食糧を事缺かせぬやうにと思召されて、皇孫をこの國に御降し遊ばされた時、齋庭の稻穂をお授けあらせられました。この稻穂が御歴代の天皇の御聖恩によつて、今日、私達國民の尊い食糧のもととなつてゐるのであります。来る十一月二十三日の新嘗祭は、戦時下に生産された本年の新穀を、天皇陛下御親と天照大神を初め奉り天神地祇に供へ給うて、神々と御共にきこしめさせ給ふいと厳肅な祭儀であり、この日を中心として全國一齊に新穀感謝の行事が行はれます。私共は一粒の米にも神恩、皇恩の有難さを味はひ、いよくお米の増産につとめると共に、節米につとめねばなりません。

幸ひ農林省の發表による十七年度の産米第一回豫想收穫高は六千七百三十万石で、昨年の實收高に比べますと、實に千二百二十万石(二割二分二厘)の増といふ豊作に恵まれて、私共の食膳にもやうやく明るさが齎せられました。ただ、それだからといつて心を緩めることは禁物です。内地は豊作でも、朝鮮、臺灣の作物は大してよいとはいへませんし、内地が來年もまた豊作だとは限らず、従つて來年への準備も必要です。その上、外米の輸入も船舶の關係等から必

ずしも十全を期待することはできません。あれやこれかを考へれば、豊作の今後こそ私共はお米を大切にしなければならぬわけですから、私共は一層戒め合つて、次ぎの事柄を實行し、食糧尊重の念を昂めると共に、いよくその増産にはげむやうにさせよう。

### (一) 食糧を尊重致しませう

- イ、新嘗祭は各神社で行はれますから當日は氏神に参拜し、また家庭では毎朝神棚にお供へを致しませう。
  - ロ、食糧を粗末にすることは、まことに「勿體ない」ことです。調理方法や食べ方などに工夫を凝し、出来るだけ厨芥を出さないやうに努めませう。
  - ハ、食物は完全に咀嚼して栄養分の攝取に努めませう。
  - ニ、食前食後には必ず感謝の言葉を捧げませう。
  - ホ、生鮮食料品の配給は、お互ひに感謝の心持でよく行きわたるやうにさせよう。
- ### (二) 食糧増産と供出に努めませう
- イ、農家にあつては、自家保有米等の外はすべて政府に供出し、今年の豊作の有終の美を飾りませう。
  - ロ、麥播の割當面積を必ず作付いたしませう。
  - ハ、堆肥の増成に努めませう。
  - ニ、落穂拾ひも完全に致しませう。
  - ホ、都市では空地を利用して盛んに蔬菜の栽培に努めませう。

## (二) 燃料と電気の

### 消費節約に努めませう

燃料と電気は戦争遂行の原動力ですから、私共はお互ひの家庭で出来るだけ節約して、それを生産擴充や國防上、必要な方面に廻さねばなりません。

このため、燃料については十一月十六日から一週間、全國一齊に「燃料週間」が行はれ、また電燈については十一月一日から、その消費制限が實施され、一定の限度以上に電氣を使ふと、特に高い料金を支拂ふことになり、場合によつては電氣を止められることになりました。みなさんも燃料の需要が飛躍的に増大する冬に備へて、次ぎにあげるやうなことに注意をし、大いにその節約に努めて下さい。

#### 燃料の節約

ガス——これについては別項「戦時下のガスの使い方」の記事をご覧下さい。  
木炭——割當數量によつて毎日の消費量を割り出し、計画的な使用方をすること。水気のあるのは損、よく乾かして使ふこと。残火は必ず火消壺へ。屑炭は火鉢の炭の下へ。一片の木炭も大切にすること。

煉炭——よく乾してから使ひ、炊事用、ストーヴ用、風呂用など、用途に応じて専用のものを使ふこと。  
豆炭——コンロなどで使ふ場合、量を八分目にして、通風を良くすること。高熱の時に炊事用等に利用し、その後は採暖用火消壺へ。  
薪——燻すと不經濟、小さく割り過ぎて不經濟です。

#### 電燈の節約

電燈の使用限度を守ること  
電力調整令に基づいて、こんど各家庭で消費量を減らして一ヶ月に使用できる電力量は、十燈までは二十五キロワット時で、十燈を超過する場合は、その一燈に付き一キロワット時を加へたものときまりましたが、この使用限度は是非厳守して下さい。(なほ電燈の消費規制については九月三十日號の週報に詳しい解説が出てゐます。)

#### 電燈節約の工夫をすること

用のない時や寝る時は忘れずに消燈する。電球や笠の汚れを時々掃除する。裸電燈は不經濟。電力を浪費する不良電球を使はないこと。店先の電燈は無用に明るさを競はないこと。客室や廊下に必要以上の電燈をつけぬこと。時々メートルを見て電燈の使ひ方に注意すること。

#### わが隣組の運営法

日本救済會隣組部「戦時生活用度係」は、先頃、「わが隣組の運営の仕方」の資料を頒布しました。次に掲げるのはその中、採用したものの一つです。

毎月の常會に、缺席者どころか、世帯數以上の方が集るやうに、次ぎのことを實行してゐます。

- 一、開會時間は一分も遅らせない
- 一、終了時間を前以て發表する
- 一、開會、宣誓、國民義務に始まり、傳達および報告、協議、懇談、中合せ、和樂、終了と前以て十分研究準備し、すらくと進行するやうに心掛る

二、和樂には必ず紙芝居、朗讀、時には簡単な福引を行ふ  
次に文化方面については隣組豆問書館を作り、各種圖書雜誌の閲覧を行つてゐます。貯蓄については國債類の購入額を大體一ヶ年豫定し、隣組員の方に刷物を以て貯蓄の必要

と割當額の平均を示し、購入額の申出を願ひましたところ、豫想以上の申込みがあり、町内會からの割當を樂々と購入してゐます。

警防については隣組各人の性質體力に應じて任務を決定、任務札を作り左胸につけてゐます。時折り全員集合點呼を行ひ、また例へば掃夷彈の種類、消火法等の質問を刷物でくばつて回答を求めてゐます。

なほ教化の方面については近接の六つの隣組長で「みろく會」といふ會を作り、自作自演で啓蒙紙芝居を一ヶ月六回平均、夕方道端または空地で行つてゐます。録後後援も「みろく會」で相談の上、出征家族や遺族を御招待して隣組懇話會を開いて非常な感謝を得ました。その他、國民運動はすべて「みろく會」で相談の上、同一歩調で行ひ、殊に子供隣組には力を致し、行軍、手帳當選、飯盒炊爨、キャンプ等を実行して國防力の一助へと心掛けてゐます。

(隣組部編製生表第一二九五 鈴木英次  
一 卷末のお知らせ参照)

# 戦時下の ガスの使い方

一般にガスといひますと、単に家庭の炊事用だけに使はれてゐるやうに考へられる向もあるやうですが、最近では、都市生活の必需燃料であると同時に、戦時下の軍需品の製造、その他重要産業用燃料として、ますます重要性を加へて参りました。

諸工業に向けられるガスの用途は、まことに廣汎なもので、航空機、軍艦、戦車、自動車、機関銃をはじめ、銃弾、砲弾、爆弾、機雷、光學兵器、無電機、火薬、戎衣、さては軍用食料品等に至るまで、その製造には絶對

缺くことの出来ない重要な燃料となつてゐます。

この外、生産擴充産業方面における需用もまた、旺盛を極め、これ等の軍需、生産擴充方面に使用されてゐるガスの消費量は、實に甚大な量に上り、今後ますます増加の傾向にあります。

政府としては、ガスが國防上からみても、國民生活の安定上からみても、極めて重要不可欠の燃料なので、ガス製造に必要な原料石炭の供給については、常に最善の努力を拂つてゐます。

しかし、ガスの原料石炭は、製鐵用としても缺くことの出来ないものでありまして、ガスが十分に出来、そして優秀なコークスがとれるものでなければいけません。この條件にかなふ石炭は、我が國では大體、九州とか、北海道とか樺太の特定の炭山に限られてをり、この石炭を思ふやうにガス事業の方へだけ廻すことが出来ません。そこで勢ひ、需要を満たすには遙かに足りない配給石炭で、ガスの供給を調節して行かなければならないのです。

従つて我々はこの際、尋常には忍び得ない不便を忍んでも、ガスを節約して、これを軍需産業その他、國家の緊要な用途に振向け、戦争遂行の上で遺憾のないやうに努めなければならぬのであります。これには今後一般の方々の數段の理解と協力とを必要とする情勢なのであります。

それではどうしたならば、ガスを最

も有効に無駄なく使用できるか、以下、項を追つて説明しませう。

## ガスの使い方

- 一、ガスが燃えるには、七輪の捻子元にある空気窓から適量の空気が入ることが肝要です。このため空気窓を適當に開けて、焰が青く強く燃えるやうにしてお使い下さい。
- 二、器具の手入は是非必要です。焰の孔が詰つたり汚れた時は、雑巾のやうなものに孔を明け、油雑巾でよく拭いて下さい。
- 三、湯は一度沸騰したら、いくら餘計に熱を加へても、温度は昇りませんから、煮立つたならば、適當にガスの火を弱めて下さい。茹でものや豆を煮る時には、このこつを應用すれば無駄が省けます。
- 四、使用の都度、火を點けてお使ひ下さい。點け放しで他の用をなさることは、無駄になり勝ちです。火をつける時は鍋裏蓋を七輪に載せてからマッチを振り、火口にかざしてから、七輪の栓を開けて

點火して下さい。使用した後は直ぐ消すことが大切です。

- 五、茶碗一、二杯の僅かな湯が要るのに、多量の湯を沸かし、残りを無駄に冷してしまふのは不經濟も甚だしいことです。餘分の湯は絶對に沸かさないうやうにしませう。
- 六、茹物、煮物、燻物、いづれも豫じめ所要時間を承知して置き、時間が来たらガスを加減します。蒸所にはぜひ時計が欲しいものです。
- 七、燻物の際、燻網の上にフライパンを被せて使ふと、經濟になります。
- 八、茹物は出来るだけ水を少く、一旦、茹物につかつた湯は、順に他の茹物または調理に利用いたしませう。
- 九、野菜類を茹でる場合、沸つてから直ぐ湯の中へ入れると、折角沸いた湯が冷めてしまひます。よく水を切つてから湯に入れて下さい。
- 十、煮物は、水分の多いものは水をすくなく目に入れます。
- 十一、炊飯際は、釜とガスの火口との距離

を適當に保つことが肝要です。焰の先が釜の底に當り、少し先が曲る程度まで火口の捻子を廻して下します。

- 十二、炊飯も煮物も、釜は完全に蓋をして、なほ炊飯の際、釜の上に重しを載せると、釜の内に壓力がかゝり、經濟的です。
- 十三、ガス器具と各器類は、つり合つたものをお使ひ下さい。鍋釜の底は光つたものよりも、黒い塗料のかけかたの方がお徳です。
- 十四、總て調理の際は手順を定めておき、容器が冷えてしまはないうやうに火を弱く使用して下さい。
- 十五、火起しに炭を入れ、ガスにかけて炭に火が點いたら、すぐにガスを消して下さい。そのまましばらく置くと、自然に火が起ります。炭の全部が真赤になつてゐるのを知らずにガスをつけてゐる方があります。
- 十六、炊飯や湯沸しに注意して、ガスを使へば、次ぎのやうな量で足ります。

▼一升の御飯を炊くには(炭、秋)  
所要時間十九分(大火十五分、小火四

分、蒸しを除く)  
 ガス消費量 QQ、一四立方メートル  
 ガス代金 一銭一厘九毛(東京府料  
 金)

▼一升のお湯を沸騰するには(春、秋)  
 所要時間九分二十六秒  
 ガス消費量 QQ、〇七立方メートル  
 ガス代金 六厘四毛(東京府料金)  
 十七、ガスを経済にお使いになるには、  
 メートルの読み方を覚えてみて、何程の  
 ガスを使用したかを常に注意することが  
 大切です。

ガス会社からは毎月の割当量が家用家  
 に通知されてをりますから、これを圖表に  
 して豫定表を作り、毎日または数日おき  
 にメートルの指針を見て、使用量が決し  
 て豫定を超過しないやうに、十分心掛け  
 して下さい。  
 なおこの際、なるべく湯を呑むところ  
 は水で間に合せ、炊飯は、一日一回だけで  
 済ますやうにし、さらに炊事用のガスさへ  
 極度に切りつめなければならない際ですか

ら、風呂、ストーブ等の炊事用以外の用にガ  
 スを使用することは勿論やめて下さい。  
 こゝで特に注意したのは、家庭によつ  
 ては寮所の仕事は一切、女中さん委せて、  
 主婦は炊事に全然手を掛  
 けず、従つて女中さんは  
 自分の考へだけでガスを  
 取扱つてゐる結果、誤つ  
 たガスの使ひ方をしてゐ  
 る向が相當多いやうです  
 から、これは是非主婦が  
 先に立つて、正しいガス  
 の使ひ方をさせるやう、  
 特に配意して下さい。

以上、ガスの消費節約  
 をしなければならぬ、理  
 由、節約方法等の要點を  
 説明いたしました。ガ  
 スの節約は、事小に見え  
 て、その重要な事柄  
 です。それを實行するこ  
 とによつて戦時下お國へ  
 の御奉公も出来、一面

寫眞週報

十月二十一日發行  
 定價 十 銭

- ☆南滿シドニー新聞に載事した特約記者四勇士の英艦  
 艦内に留る
- ☆ニューブリテン島ラバウルのわが海軍基地
- ☆南の英領新生ジャワの姿
- ☆二人の米兵  
 ——コレヒールの艦上二人の米兵の生活點
- ☆海軍の兵隊さんと子供たちの二人三脚競走
- ☆白衣の兵隊さん鐘を召上れ——東京九段門前日軍の演習
- ☆秋刀魚網の増産を支持つ演説の乙女部隊——青森
- ☆三對一の獨逸俘虜交換
- ☆軍用糧食の増産——熊本

思想戦讀本

6

情報局

思想戦と教育

英國の植民地教育

戦時における思想戦の重點は、國民の戦意を挫くこ  
 とにあるから、敵はあらゆる機會を利用して戦争を忌  
 み嫌ふやうに仕掛けて来る。平時においては、出来る  
 だけ無用の敵を作らないことが、戦争の場合を考慮し  
 て自國を利用するに足る國を隨所に作る事が重點であ  
 る。従つて政治的に支配し得る地域とか、國家に對し  
 ては、反感を助長しないやうに配意すれば、相當に身

勝手な措置さへ講じ得るのであつて、今までの歐米諸  
 國の植民地に對する諸政策は、その著るしい例であ  
 る。

ところが相手が獨立國である場合には、餘程慎重な  
 用意が必要になつて来る。いはゆる親善關係といふも  
 のは、この點からいつて、よく吟味しなければならな  
 い。歐米諸國が外國に臨む場合は、まづ得意の武威を  
 示して壓迫し、武威に屈すれば政治、經濟上の權益を  
 要求するが、どんなに政治的、經濟的に支配體制を強

化しても、民心が動揺したり、離反したのでは、支配力を久しく維持することは出来ない。

そこで、必ず教育に着眼し、必要に感じて、或る場合には文盲者を作ることに主力を注ぎ、或る場合には親切にかして、自國に都合のよい頭使に甘んずる人員を養成するやうな教育を積極的に實施する。

例へば、イギリスがインド統治を強化するに際し、上流層にイギリス流の教育を實施してゐると揚言しながら、實状は驚くべき多数の文盲者を作つてゐるなどは、最も顯著な事例である。傳ふところによるとインドの文盲者は、全インド人の九割以上を占めてゐり、しかも上流層に對する教育は、インド人に自信を與へ、實力を賦與するものではなく、インド人がインドを輕んじ、自國の下層民を蔑み、イギリスを尊敬するやうな内容のものであつた。

大東亞戰争後、インドに叛亂が起つてゐるが、それはかくしく進展しないのは、多年に亘るイギリスのインドに對する教育の成果に他ならない。教育を通

じて行はれる思想戰の効果を雄辯に物語つてゐるものといへるのである。

### 米國の對支教育政策

これと趣を異にする例は、アメリカの對支教育政策である。周知のやうに、アメリカの建設には支那の苦力の勞力が大なる貢獻をしてをり、特に大陸橫斷鐵道の建設の勞力は、大部分支那の苦力であつた。未だイギリスの植民地であつた頃から、アメリカの勞働力の主要部分は白人ではなかつた。

南部の農業建設の主力をなしてゐたものは、アフリカから奴隸船で輸入されたニグロであつたが、南北戰争後、奴隸の使用を禁ずべしとの思想が強くなり、自然と奴隸を購入できなくなり、香港から苦力を多数移入せざるを得なかつたのである。

かやうにして支那苦力の移住者が増加すると、困るのは白人勞働者である。低い生活に甘んじて晝夜の別なく勤勞する苦力には到底對抗すべくもなく、こゝに

支那人排斥の聲が起り、次第に苦力の移住を制限し、遂に全くこれを禁止するに至つた。明治十八年、ワイオミング州、ロックスプリング嶺山において、白人勞働者達が賃金値上げの争議に支那人勞働者を引き入れようとして失敗し、何の罪もない支那人等を虐殺し、財産を掠奪した有名な事件があるが、これは右に述べた支那人排斥問題に連なる出来ごとである。

このやうに、アメリカは支那人を迫害したが、一面對支貿易の將來には非常に大きな關心をもつてゐた。既に支那には相當数のアメリカ人が居住して商事に従事し、支那貿易の有望であることが彼等から報告されてゐた。このやうな事態に處するために、アメリカとしては、支那人排斥が至當であるとの理窟をつくり、一方、支那人の好意を得る機會を窺つてゐた。

日清、日露の戰争に際して、駐支アメリカ使節は、機會ある毎に支那人の心を把へることに努め、日露戰争後は個人的にも、國家的にも、滿洲の利益、殊に鐵道利權の獲得に狂奔し、日本の勢力伸張を喜ばぬ支

那の政治家と提携して、日本を非難し、アメリカに知己ありとの觀念を、次第に支那の知識人に植を付けることが出来た。

しかしながら、かやうな事によつて生ずる親善關係は、双方共にいはゞ損得づくから出たものであつて、一旦利害を異にすれば、一朝にして崩れ去る底のものに過ぎない。しかも、大東亞戰直前まで根強く支那人の心に植を付けられてゐたアメリカ人に對する親善觀は、このやうな相互の利害關係から生ずべくもない。近時の米支兩國間の親善關係は、まことにアメリカの對支教育政策に負ふところのものといはねばならない。

即ち明治三十三年、北京に起つた義和團事件(團匪事件)の結果、アメリカは莫大な賠償金を要求し、支那政府は年々多額の費用を關係諸國に支拂つてゐた。アメリカの議會では、早くからこの問題を取り上げ、賠償金を一旦、支那に返還し、支那政府に青年の教育とアメリカ留學とに使用させよとの主張があつたが、機

熟して明治四十一年、遂に賠償金の返還を議決し、以來この費用によつて支那國內の教育は勿論、留學生教育もまた著しく盛んになつた。アメリカの財閥中、屈指の一人ロックフェラーも、莫大な資金を投じて學術・教育・醫療等の奨励助成に力を致し、その後久しからずして、支那の學校教育は全くアメリカ式になつたのである。

### 思想戦と教育文化施設

アメリカには豊かな富があるから、金にあかして壯麗な學校や病院、圖書館、博物館等を作るのは容易である。そして、お手のもの、機械的な、分り易い方法で支那の青少年を教育し、優秀な學生を選擧してアメリカに留學させ、草葉的な物質文明によつて完全に魅了することが出来た。これ等の文化施設が、いはゆる企業的に經營されたのでは、支那の青年と雖も直ちにその腹を見透したことであらうが、在支文化施設は社會と不可分の關係にあり、教育者なども、一流の人物であるとはいへないまでも、少くとも中以上の學力と

教養とを具有するものであつた。従つて接する支那青年に好感を與へ、尊敬の念を抱かせたのである。

このやうな文化事業に一層効果のあつたものは、教會の慈善事業以外にも淮河の治水、阿片禁煙に對する同情、排日運動に對する支援協力である。中支にしばしば大打撃を與へる淮河の氾濫を救ふ計畫を樹て、數度に亘つて大調査團を派遣したり、國際會議の席上、支那代表の阿片禁煙を是認し、これを激勵したことは、實質以上に支那の知識人を感激させたのである。また第一次歐洲大戰當時、日本の對支政策——いはゆる二十一ヶ條要求——を惡し様に宣傳したことも、いたく支那側を喜ばしたのである。かやうな政治的、宣傳的施策もなく、單に教育を行つただけならば、恐らくは支那民心に大して喰込み得なかつたであらうが、アメリカのこの配意は、まことに有効であつた。

元來、本國に物資の少いイギリスは、最も大きな期待をかけてゐたアメリカが獨立した後は、専らインド統治に集中し、何としてもインドの物資を確保しなければならぬから、アメリカの對支政策とは、政策

の重點に自ら異なるものがある。イギリスはインドの獨立運動に對して常に警戒し、教育上、特別の工夫をしなければならなかつたが、アメリカは無制限に支那人の獨立心を奮起させることが出来た。

支那四億の民衆を政治的に縛つて、産業を通して搾取する體制は、既にイギリスが完成してゐるのであるから、アメリカとしては、同様の方法で支那に進出する譯はない。むしろ支那人がアメリカに頼つて、イギリスの半植民地状態を離れて活動することが望ましいことであり、彼等の生活が豊かになれば、アメリカの商品市場として、また原料資源の供給地としてますます好都合である。こゝに學校以下の各種の文化施設によつて支那人を啓蒙し、キリスト教青年會を中心にスポーツと映畫とを普及して、享樂的な自由主義思想を傳播する地盤を作ることが、アメリカの對支思想戦の狙ひであつた。アメリカ勢力の滲透を阻止しようとする日本が、しばしば支那と事を構へ、イギリスと並んで排斥の的となり始めたことも、アメリカにとっては却つて好條件を加へたに過ぎない。中國共產黨が優勢に

なつても、それが日本に對する壓力となれば、却つて幸せであるといふのがアメリカの立場であつた。

このやうにアメリカは、支那に對して好意を賣る機會に恵まれてゐた上に、年收數億に上る煙草會社の英米トラストがあつたから、教育資金をアメリカから持出す必要は更でない。ロックフェラー資金も團匪賠償金も大して腹の痛む金ではないから、思ひ切つて贅澤な施設をすることが出来たのである。

新中國建設の中堅的人材の養成機關である武漢大學の設計とその運用とは、全くアメリカ流であつて、ここに支那の教授や學生の姿が見えなければ、支那の大學とは思へない程の代物であつた。國立清華大學も、元來はアメリカの大學で、對支文化政策の基地であつた。支那の各地に見られる立派な建築物は、アメリカ系の大學か病院であつた。在支アメリカミッションの數は、五十餘、アメリカ系大學、研究所、圖書館を列擧すれば、北京に燕京大學、輔仁大學(米獨共同)、北京協和醫學校、國立北京圖書館、哈佛燕京學社、靜生大學、濟南に齊魯大學(米英加教會共同)、上海に

聖約翰大學、滬江大學、上海女子醫學院、聖約翰大學羅氏圖書館、蘇州に東吳大學、杭州に之江文理學院、南京に金陵大學、金陵女子文理學院、武昌に華中大學（采英教會共同）、文華公書林、福州に華南女子文理學院、福建協和大學、廣東に嶺南大學、成都に華西協會大學、蒙疆の張家口に米國美善會圖書館等があり、成都、福州のもの以外は、いづれも大東亞戰爭勃發後、皇軍の手に接收された。このうち燕京大學の一部は、既に北支那開發株式會社の調査部が利用し、南京の金陵大學には國民政府の國立中央大學が移轉することになった。

かやうに、主要な教育文化施設は、アメリカの基金とアメリカ人によつて經營された結果、中國の知識層には數多くの親米論者、アメリカ崇拜者があり、重慶の要人その他の中堅人材の大多數は、アメリカの思のかゝつた人々である。このやうにして民心を把へた結果、アメリカの經濟力は急速に支那大陸に延び、大東亞戰爭以前には、イギリスの地盤がアメリカに移りつゝあつたのである。教育を通じてのアメリカの思想戰

は、特に支那大陸において活潑であり、その成果もまた著るしいものがあつた。特に積極的になつた明治四十一年以來すでに三十五年、支那の民衆はアメリカの思想戰に完敗しながら、未だに感謝の念を去り得ない實情である。かやうな心境にある中國人を相手として、新秩序の建設を進めねばならぬ我が國民は、以上の事實を銘記すると共に、内に自ら反省し、如何にしてこの難題を解決するかについての心構へを作らなければならぬ。

### 我が國に對する敵の教育謀略

以上、教育即思想戰の例として英領インドと支那における教育について述べたが、これはわが國の教育の中にインドや支那のそれと相通するものがあるか否かを検討する資料を提供するためである。勿論、わが國はインドや支那のやうに米英の侵略は蒙らなかつたし、國家が米英の資金に頼つて教育を行つたこともなかつた。假りに教育の内容に相通するものがあつたとしても、それは決してインドや支那におけるやうな無

自覺、無内容の結果、さやうなものに依存したものでは斷じてない。わが國の場合は、歐米の優迫に備へ、彼の武器を積極的にわがものとしようとする旺盛な精神から自主的に輸入し、採用したのである。

しかしながら、このやうな積極的な向學心は、米英にとつてまことに好都合であつた。心身に滿ち溢れる積極的な意欲と、革新的な精神との前に平坦な道を作り、羨しい整頓した目的地を與へれば、勇躍その道を邁進し、彼等の欲するところに導くことが出来るからである。明治初年の學校制度、教育方法、教科内容を回顧すると、教育的、文化的侵略を招來する隙がなほなかつたのである。幕末の遣歐使節に隨行した青年が、その師匠に送つた書翰の中に、香港におけるイギリス軍の整備した姿に一驚したことや、ロンドンを始めとして各國の都市で各種の文化施設、工場、兵器製作場を見て、井蛙の歎を發したことが記されてゐるが、歐米文化に對するかゝる認識は、一面において國民の或る者をして大いに發憤せしめ、國力の充實に挺身させたが、他面において歐米崇拜の風潮をも馴致

させたのである。

歐米の功利主義、自由主義がこゝに地盤を得、教育において國典、經書、忠臣賢哲の傳や、武藝等による修煉よりも、洋書を學ぶ方がより高く國家に益するものであるとの觀念が植ゑ付けられた。

明治十七、八年當時の鹿鳴館をめぐる上流層の風潮などは、今日からすれば、如何に手段とはいへ、正氣の沙汰とは考へられない。教育の先覺者を以て任ずる者の中にも、日本人の傳統的な考へ方によつて歐米の學問技術を検討するなどといふやうな、自主性を全く缺き、ひたすらそれに追隨し、歐化主義に墮した者が少なからず生じたのである。その結果は、教育界、思想界に名狀できない思想的混亂が生じたのである。

この時に當つて激發されたのが、長くも教育に關する勅語であり、これによつてわが國の教育、學問の大道は明示され、教育の趨向も大いに改められたのである。しかしながら、前からの歐米思想追隨の流弊は、全く跡を斷つには至らなかつた。國の安危をかけた戦ひ抜いた日露戰爭の頃までは、このやうな傾向も



實際問題としてきたる不都合を生じなかつたが、その後、滿洲事變までの間は、なべて平和が続き、第一次歐洲大戰の際などは、英米佛等、いはゆる聯合國側を助け、戰勝國の側に立ち、日清、日露戰爭當時、國內に漲つてゐたやうな國家意識は影を没し、米英の唱導する民主主義、國際主義を以て進歩なりと思惟するやうになつた。

かやうにして、その後の思想界は、急激に歐米化するに至り、アメリカニズムが氾濫し、戦後の反動によつて經濟界に失業層が増加するや、社會主義、共產主義思想を抱くことが進歩的であると見る風潮も生じ、混沌たる思想状態の中に彷徨すること数年に及んだ。久しい間、歐米流の學問を學びつゝあつた學生層は、よりどころたるべき日本の傳統を忘れ、昔の國家の重きに任ずる書生氣質は變じてアメリカ流の享樂的な學生氣質となり、一見明らかな學問風景が出現したけれども、祖先から言ひ継ぎ、語り繼いだ精神は殆んど全く青少年に傳へられなくなつた。歐米流の學問に精通するものは優秀な學者と譏はれ、わが國の傳統を保持し

ようと努力する學者や教育者は頭迷罔暗として退けられたのである。

しかも、この學問たるや、學問のための學問、眞理のための眞理などといふ考へに支配され、具體的、現實的地盤から遊離し、國家や社會に對して冷淡な破壞的批判をなすことが、恰も歴史や國家を超越する學問の聖なる任務であるかのやうな謬想さへ生じた。

このやうに、一般に學問、殊に文化、科學等の性格は、建設的、協力的でなく、破壊的、分裂的となつただけでなく、諸國、諸民族の盛衰興亡の跡や現勢を教へて、日本の世界史的使命を諒解させるための歴史、地理等の學問すら、主體性を缺いて、立場を歐米に置いた方法に倣つたために、世界についての知識は豊富になつたが、これに對し日本人としては、如何なる判斷をなし、如何に對處すべきかといふ確信や實踐は養はれなかつた。それだけでなく、雑多な知識の集積は、かへつて人をして混沌と實踐回避とにさへ陥れた。

大正中期以後の我が國の教育、學問、思想、文化の

性格は、混沌であり、低迷であり、さらにつきつめていへば、歴史性、國家性を失ひ、自我功利と米英追隨に終始する國際主義に墮したとさへいへるのである。このことは結果的にみれば、米英の思想的侵略を甘受したものに外ならない。

しかし滿洲事變によつてわが國の使命を認識し、支那事變に當面して歐米諸國の思想戰の實態を知悉し、徐ろにわが國の教育の實態を反省し、建て直しする機會を得たことは、非常な幸せであつた。このことなくして直ちに大東亞戰爭を迎へたならば、恐るべき混沌状態に陥り、米英の思想侵略にうま／＼と乗せられたかも知れない。

### 皇國教育の覺醒

教育には家庭教育、社會教育、學校教育と稱せられる分野があるが、わが國近時の状態をみるに、いづれの分野にも歐米風の影響があり、殊に都市においてはこの傾向が強い。従つて思想戰の戰場は極めて廣く、その方法も頗る多いのであるが、今日までの教育を

回顧して最も憂ふべきものは、いはゆる家庭教育と社會教育の面である。學校教育の改革が必ずしも容易であるとはいへないが、過去の誤謬に氣付けば、直ちに相當程度の刷新を加へ得る。ところが別段の監督を受けることもなく既に考へがたまり、習慣が出来てしまつた人々が益々家庭生活と社會生活を建て直すことは、學校教育に比較してより困難である。あたかも學校教育の改革に際して、改革の障礙が教育者の過去の教養と習慣とにあるのと同様である。

勿論、この三つの分野は、截然と區別し得るものではなく、相互に深い關係を有するが、學校教育の場合には、學科、學科内容に手を加へ得るし、教育者の再教育も斷行しようとすればさして困難ではない。

思想戰をして眞に効果あらしめるためには、まづ國民的傳統と國民的信念とを育成する礎地たるべき家庭、社會を改革しなければならぬ。この點から女子教育は、最も警戒されねばならない。大東亞戰爭以前、さらに支那事變以前のわが國の女子教育の實情をみると、中等學校以上の學校で、著名なものも多くは、外

國のミッション系であつた。外國の直營ならずともミッション系であれば、多少とも外國人に繋りをもつことはいふまでもない。支那の大學が英米その他の外國の教會に直接、間接に深い關係をもつてゐたことは先に述べた通りであるが、わが國のやうに國家的思想が旺盛で、常に國家の體面を重視する國においては、男子の學校に手をつけることは困難である。尤もかなりの數の教會關係の學校がないではないが、必ずしも素質優秀な學生をこゝに集めてゐるわけではない。

ところが女子の學校においては事情を異にする。由來、わが國においては、婦人は家をおさめることを本分とし、徒らに世の中に出ぬ習慣があるから、政治や外交等には自然と關心が稀薄である。日常生活、衣食住の問題、子女教養の問題が、わが國の婦人の持つ關心の大部分である。女子教育としては、この傳統に立つべきである。ところが、過去の例が示したやうに、ミッション學校式教育は、家庭よりも社會、傳統よりも自由、夫唱婦隨よりも男女同權といふやうな教育方針がとられ、従つて、そこに營まれる學園生活

は華やかで、自由な趣きがあり、婦女の憧憬をそよめるものがあつた。學資に恵まれてゐる上流の婦女が、競つてミッションスクールに學ぶ風が二世を風靡し、すでに親子二代を重ねてゐるものもある。

そして學園生活の間に最優秀の生徒となるものは、最も外國人に近い生活態度を得得し、外國語に堪能なものであるから、夢多く思慮未だ浅い子女が、競つて歐米流に倣ふのは當然のことである。こゝに淺薄な歐米崇拜の思想が養はれ、家に歸り、他家に嫁いだ後、一意、歐米の風に模倣することに努めて今日に及んだのである。合理的な生活、夫婦愛中心の生活、享樂的生活、總じていへば浮薄な、いはゆる文化生活は、先づ上流家庭の風をなし、次第にこれが一般にも及んだのである。

元來、上流家庭にはよき日本の風習があり、祖先の榮譽が子弟教育の教材として存在してゐるものである。それが新しい教育を受けた主婦によつて鮮かに捨て去られ、家庭の雰囲気は歐米流となり、祖先崇拜の如きは輕んじられ、訓育の材料は専ら外國に求められ

ることになつたのである。古き日本のよさを體得してゐる婦人が生存する間は、新舊思想の葛藤といふ形で、とも角も歐米化の奔流が或る程度は阻止されてゐたが、その數の減少と共に、日本の傳統は子供の教育とは無縁のものに成り果てたのである。感情的に直感的に、祖先の魂を繼承すべき苦の幼年時代が以上のやうな環境であり、學校教育、社會教育もまたこれと相去ること遠くないとすれば、眞の日本魂は一體いつ練磨されるのであらうか。

政府が學制改革と共に女子教育の改革を取り上げ、さし當り正課に英語を課すことを廢止したのは、以上のやうな宿弊を改めんがために他ならない。一部にはなほ英語の習得を教養と考へ、政府當局の意の存するところを解しないものがあるが、思想戦と教育との關係を省察すれば、かやうな意見は次第に消滅するであらう。映画、ラジオ、新聞、雜誌、講演、運動競技、演藝等もまた思想戦と教育の關係を考へる上に重要な部面である。

以上述べたやうに、教育を通じて行はれる思想戦

は、極めて徐々に行進するので、その結果に気がついた時は、既に戦ひはかなり進んでをり、これを一舉に建て直すことは困難である。教育の刷新に對してはいろいろと尤もらしい反對のあるのは當然であるから、革新の重點が何であるかを慎重に検討し、これがつきとめられたならば、斷乎として所信を貫くべきである。政府は教育年限の短縮、語學教育の革新、教科書の改訂に主眼を置き、目下鋭意これが完遂に邁進してゐるが、一億國民がこの眞意を解して協力しなければ、實施上いろいろ摩擦を生ずることはまぬがれない。思想戦の實情を省みず、徒らに現状の維持のみを考へて躊躇し、逡巡するものが多ければ、人材の養成はそれだけ遅延し、延いては大東亞戰爭の完遂に支障を生ずるのである。

外國の思想戦に乘ずる隙を與へないためには、國民一人残らずが皇國民としての自信と力量とを養成し、皇國民の世界的な使命を明確に把握しなければならぬ。そしてこの目的を達成するには、教育内容と教學體制とを速かに刷新しなければならぬ。

10月抽籤 貯蓄債券 當籤番號表(其ノ二)

支拂開始期 11月1日

支拂場所 日本勸業銀行本支店、出張所・代理店及集配郵便局

全當籤番號風表(百額、債券時限除外)

(普通中央大ニ、同額、括弧内金額ノ抽籤)

昭和17年10月 大蔵省・日本勸業銀行

26498	26499	26500	26501	26502	26503	26504	26505	26506	26507	26508	26509	26510	26511	26512	26513	26514	26515	26516	26517	26518	26519	26520	26521	26522	26523	26524	26525	26526	26527	26528	26529	26530	26531	26532	26533	26534	26535	26536	26537	26538	26539	26540	26541	26542	26543	26544	26545	26546	26547	26548	26549	26550	26551	26552	26553	26554	26555	26556	26557	26558	26559	26560	26561	26562	26563	26564	26565	26566	26567	26568	26569	26570	26571	26572	26573	26574	26575	26576	26577	26578	26579	26580	26581	26582	26583	26584	26585	26586	26587	26588	26589	26590	26591	26592	26593	26594	26595	26596	26597	26598	26599	26600
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

## 「頼母しい隣組生活例」の募集

みなさんの隣組の中には、組員の創意と工夫とによつて、戦時下の不自由な生活を立派に戦ひ抜いてゐる實例が相當あることであらう。さうした實例が他の隣組のよいお手本となり、それによつて隣組の戦時態勢が全国的に少しでも強化されれば、それだけ大東亞戦争を勝ち抜く力が増すわけです。

そこで情報局では、日本放送協會と協力して戦時下隣組生活の模範例ともいふべきものを毎月適當な例題に従つて、廣く一般から募集し、ラジオを通じて放送すると共に、その一部を毎月の週報「當會の頁」その他に掲載し、戦争下國民生活全體の進展に役立たせることにしました。

下記の規程によつて、ふるつて応募して下さい。

△今度の題

一、物の配給を貴方の隣組ではどう捌いてゐますか

二、この頃の材料で喜ばれるお弁当の持へ方

▽原稿の長さ 四百字詰 二枚

▽切 十月三十一日(土曜日)

▽宛 東京市麹町區内幸町日本放送協會講演部「戦時生活相談」係

▽表 ラジオは十一月七日か十四日の午前九時からの「戦時生活相談」の時間に放送し、週報は採用分の中から適當なものを選んで、十一月十八日號の「當會の頁」に掲載します。

▽注意 應募原稿には住所(氏名)振替名をつけて職業・年齢をはつきり書き入れて下さい。採用分には返謝を呈します。

---

意 注 御	所込申	價 定	昭 和 十 七 年 十 月 二 十 一 日 發 行
▲本誌より轉載の場合には必ず「週報原稿」より轉載の旨を明記し、その轉載料を原稿と一緒に郵送して下さい。	▲本誌記事の無断転載は御断り致します。	▲掲載記事に対する御返答を編輯に附しての御返答を他へお送りの場合には断り一部一頁を申上げます。	週 報
▲本誌より轉載の場合には必ず「週報原稿」より轉載の旨を明記し、その轉載料を原稿と一緒に郵送して下さい。	▲本誌記事の無断転載は御断り致します。	▲掲載記事に対する御返答を編輯に附しての御返答を他へお送りの場合には断り一部一頁を申上げます。	報 局
▲本誌より轉載の場合には必ず「週報原稿」より轉載の旨を明記し、その轉載料を原稿と一緒に郵送して下さい。	▲本誌記事の無断転載は御断り致します。	▲掲載記事に対する御返答を編輯に附しての御返答を他へお送りの場合には断り一部一頁を申上げます。	東京市麹町區大手町
▲本誌より轉載の場合には必ず「週報原稿」より轉載の旨を明記し、その轉載料を原稿と一緒に郵送して下さい。	▲本誌記事の無断転載は御断り致します。	▲掲載記事に対する御返答を編輯に附しての御返答を他へお送りの場合には断り一部一頁を申上げます。	永田町一丁目一番地
▲本誌より轉載の場合には必ず「週報原稿」より轉載の旨を明記し、その轉載料を原稿と一緒に郵送して下さい。	▲本誌記事の無断転載は御断り致します。	▲掲載記事に対する御返答を編輯に附しての御返答を他へお送りの場合には断り一部一頁を申上げます。	内 閣 印 刷 局
▲本誌より轉載の場合には必ず「週報原稿」より轉載の旨を明記し、その轉載料を原稿と一緒に郵送して下さい。	▲本誌記事の無断転載は御断り致します。	▲掲載記事に対する御返答を編輯に附しての御返答を他へお送りの場合には断り一部一頁を申上げます。	東京市麹町區大手町

露光量違いにより重複撮影

露光量違いにより重複撮影

## 頼もしい隣組生活例の募集

みなさんの隣組の中には、組員の創意と工夫によって、戦時下の不自由な生活を立派に戦い抜いてゐる実例が相当あることであらう。さうした実例が他の隣組のよいお手本となり、それによつて隣組の戦時態勢が全国的に少しでも強化されれば、それだけ大東亞戦争を勝ち抜く力が増すわけではあります。そこで情報局では、日本放送協会と協力して戦時下隣組生活の模範例ともいふべきものを毎月適當な例題に従つて、広く一般から募集し、ラジオを通じて放送すると共に、その一部を毎月の週報・常會の頁にその他に掲載し、戦争下國民生活全体の進歩に役立てることにしました。

次ぎの趣旨によつて、ふるつて応募して下さい。

△今度の例題

一、物の配給を貴方の隣組ではどう例ひておますか

二、この頃の材料で喜ばれるお辨當の肴何方

▽原稿の長さ 四百字詰 二枚

▽送 表 東京市麹町区西幸町日本放送協会隣組生活相談部「戦時生活相談」係

▽発 表 ラジオは十一月七日か十四日の午前九時から「戦時生活相談」の時間に放送し、週報は採用分の中から適當なものを選んで、十一月十八日號の「常會の頁」に掲載します。

▽注 意 應募原稿には住所・氏名(振替名をつけて)職業・年齢をはつきり書入れして下さい。採用分には薄紙を貼ります。

10月抽籤附貯蓄債券 當籤番號表(其ノ二)

支拂開始期 11月1日

支拂場所 日本勧業銀行本支店、出張所・代理店及集配郵便局

全當籤番號抽出表紙 官報、債券時報並に外(番號表中央大字ハ初期、括弧内金額ハ増進金)

昭和十七年十月 大蔵省・日本勧業銀行

26448	24654	22453	23434	28202	40806	42982	46447	49481	52316	56033	59426	62548	65404	68685
26449	24655	22454	23435	28203	40807	42983	46448	49482	52317	56034	59427	62549	65405	68686
26450	24656	22455	23436	28204	40808	42984	46449	49483	52318	56035	59428	62550	65406	68687

昭和十七年十月二十一日發行

目録	東京市旬報	東田町一日一第地
印刷局	東京市旬報印刷局	東京市旬報印刷局

注意御	所込申	價定
<p>▲本誌より複製のものは必ず「明瞭な複製」の旨を明記し、その複製料を本誌に送らして下さい</p> <p>▲本誌記事の無断転載は厳禁です</p> <p>▲掲載記事に訂正や修正を願ひに請ひたい時は必ず原稿を提出して下さい</p> <p>▲本誌を他へお送りの方は郵送料を必ずお送り下さい</p>	<p>全国各地官報販賣所</p> <p>書店・新聞店・驛賣店</p>	<p>一部 五銭(送料一銭)</p> <p>(別添郵便用紙一枚付)</p> <p>▲特大賣の場合は其の都度別冊送金により頒布を受けます</p>

